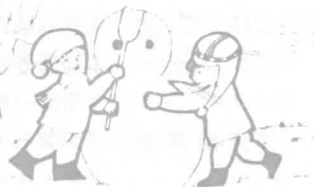




会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

雪 だ る ま

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 - 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会 長 上 野 三 郎
幹 事 佐 藤 順 治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 945 号

1978. 2. 12 (日) (雪)

No.32

家 族 会

会 場 湯之浜 亀屋ホテル

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (どこで会っても)
3. ビジター、元会員、招待者紹介
4. 会 長 挨拶
5. 幹 事 報告
6. 懇 親 交 歓 会

※銀 婚 祝 西海正一君ご夫妻、半田浩君ご夫妻、菅健君ご夫妻
玉城俊一君ご夫妻

※招 待 者 鶴岡西R.C会長・幹事、温海R.C会長・幹事
立川R.C会長・幹事

元 会 員 板垣清治様、田中正臣様

- 元会員夫人 小花春子さん
G. S. E 本間利雄君
※ビジター 本間留芳君 (温海R.C)
大川俊一君 (鶴岡西R.C)
※交換学生 プレント・ハント君 (鶴岡R.C)
ドン・コールソン嬢 (鶴岡西R.C)
スザンヌ・アンダーソン嬢 (温海R.C)

ロータリー情報委員会より

「一 口 情 報」

○クラブ奉仕の役割

クラブ奉仕の役割に関する次の言葉は、オーストラリアのある地区ガバナーの演説の一部である。「アルバート・アインシュタインは次のように申しました：『人間社会における最もすぐれたものは、すべて、個人に与えられた、才能を伸ばす機会の如何にかかっている。』私のロータリー観では、われわれ一人ひとりはその全プログラムを通じて、自己の才能を伸ばすこと、そして他の人びとを助けてその才能を開発することに努めるよう、絶えず要請されているものと考えます。所属クラブ内において、われわれは先ず第一にお互い同士が最も役立ちうる方法を見出すことによって、『全人類を結びつけるために奉仕する』基礎をかためることであります。その方法の発見にたえず努力しようではありませんか。』

○善人の記念碑

「善人には記念碑は不要である。何故なら彼らの行為そのものが記念碑だからである。」
無名の哲学者

○一日の終りに

「人間は、一日の終りに『自分は今日という日を無駄に過ぎなかった』と言えるような日々を送るべきである。」 「ゾーハー」……ユダヤ神祕教の経典

○奉仕と慈善

1977年10月7日、ドイツのハンブルグ・ロータリー・クラブの創立50周年記念式典において、国際ロータリー会長W.ジャック・デービス氏は次のように述べた。「ロータリアンとして、われわれは『奉仕』という言葉の意味を十分に知っていないければなりません。即ちそれは、他の人びとの苦しみを軽くし豊かに生活できるよ

うにするために考えついたことでわれわれの力でできる限りのことを積極的に実行するということでもあります。ロータリーの奉仕プログラムの多くは、人びとが自立できるようになり、そしてやがて今度は他の人びとを助けることができるようになるように教育し援助するといった種類のものでもあります。このような意図のもとにこのような方法によって奉仕することは、単なる慈善より効果的であり、しかもその方がはるかに感謝されるものでもあります。」

○東京が第69回国際大会のホストに

ロータリーの第69回年次国際大会は、1978年5月14日から18日まで、魅惑的な都市、東京で開催されることになっている。東京一のみ抜き通り、銀座見物を始めとして歌舞伎狂言の鑑賞にいたるまで、1978年のR. I. 国際大会に出席するロータリアンは皆、必ずや、忘れがたい印象を受ける光景や伝統的行事を楽しむことができよう。

○ロータリー財団の支出額が史上最高に

1976—77年度に、ロータリー財団は各種の教育的および慈善的プログラムのために、これまでの最高の米貨5,744,229ドルを支出した。

管理委員会は、1977年7月1日より1980年6月30日までの期間に米貨2,580万ドルを支出すべきことを決定しているが、これは積立運用資産額を大幅に上回る金額である。

○職業奉仕：1928年

間もなく2月23日のロータリー創立73周年記念日を迎えるにあたる、50年前のR. I. 会長、アーサー H. サップ氏の職業奉仕についての所見を回想するのは興味深いことである：

「初代大統領ワシントンは、その引退演説の中で、『さあ皆さん、賢人や善人が修正することができるまでに規準を高めようではありませんか。』と申しました。ロータリーがその職業奉仕プログラムを通じて示唆していることは、賢人や善人が修正することができるまでに道徳的規準を高めるよう努力することによって、地元において、国内において、そして国際的に信頼を得ること、であります。ロータリアンが世界全体に対して奉仕できることで、実務規準の向上をたえず強調することにまさる奉仕はありません。」

○ロータリー・クラブと地域社会

ロータリー・クラブは、クラブ会員たちが提供する実業および専門職業上のサービスを必要とし、かつそれを利用する地元地域社会の人びとから孤立して存在する

ことはできない。それ故、われわれのクラブの主たる目的の一つは、会員相互の交友を通じての恩典（親睦）を享受することにあるとはいうものの、同時にクラブは地元地域社会のためになるよう努めなければならない。ロータリーの方針は、他の団体と張合うことや努力の重複はさけ、あくまでも協力することである。それは、われわれが常に第一に念頭におくべきことであり、かつわれわれのすべての活動を通じて例証されなければならない。

○ 会員数の増減を同一に保つこと

大抵のロータリー・クラブは、毎年、転任、引退、死亡などのために約10パーセントの会員を失っている。そこで、われわれのクラブでも、多分、今年（ ）名の会員を失うことになるだろう。これはつまり、現在の会員数を維持するためには、今年われわれは新たに（ ）名の有資格者をロータリーの仲間を迎えなければならないということである。もし会員総数をもう2名ふやしたければ、（ ）名の有資格者に入会を勧誘しなければならない。あなたは最近会員候補者を推せんしたか？クラブ会員の増強に当って、われわれは少くとも増減を同数にすることに努めなければならない。

○ 国際奉仕

「諸国民間の理解増進をはかる活動において、ロータリーはその初期においてすでに効果的なことが実証済みの、あの……相互の利益尊重と友好的な関係……という同じ基準を守っている。商取引や社交を通じて、異国民同士お互いに理解するようになる。最初はいらだたく感じた奇妙な風習も、やがてそれに興味を持つようになり、そればかりかそれをまねることもしばしばみられるが、これは生活に潤いを与えるのに役立つものである。」

ポール・ハリスの言葉

○ ロータリーの雑誌週間

われわれの公式機関雑誌の創刊67周年記念祝賀行事は1978年1月22—28日のロータリー雑誌週間に行なわれることになっている。1911年に発行部数3,000の12ページ建てニュースレターで発足したロータリアン誌は、そのスペイン語版レビスタ・ロータリアと共に、6大陸156カ国におよそ50万の購読者を有する国際的な雑誌に発展したのである。毎月のロータリアン誌には、ロータリアンを啓発する記事、クラブ・プログラムを活気づける記事のほかに、ロータリアンでない人を対象にしたロータリーの目的に関する解説記事も載っている。

○ **ロータリアン誌：善意の歴史** (No.455) は新しくできた視聴覚資料で、米貨15.50ドルで中央事務局から入手できる。英、仏、日、ポルトガル、スペインの各国語版がある。